

各 位

上場会社名 ミライアル株式会社
 代表者 代表取締役社長 兵部 行遠
 (コード番号 4238)
 問合せ先責任者 常務取締役経理部長 脇 新市
 (TEL 03-3986-3782)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年8月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年1月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,000	750	1,080	830	82.02
今回発表予想(B)	9,510	1,530	1,860	850	83.99
増減額(B-A)	510	780	780	20	
増減率(%)	5.7	104.0	72.2	2.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年1月期)	14,020	2,098	2,324	1,304	128.87

平成22年1月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,700	1,070	1,250	890	87.95
今回発表予想(B)	8,380	1,900	2,080	960	94.86
増減額(B-A)	680	830	830	70	
増減率(%)	8.8	77.6	66.4	7.9	
(ご参考)前期実績 (平成21年1月期)	11,098	2,266	2,375	1,354	133.89

修正の理由

当社グループにおける主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」は、在庫調整に一服感がみられ、第1四半期後半から緩やかに受注が回復し、第3四半期も受注の回復が継続しました。その結果、連結業績予想における売上高は5.7%増の9,510百万円、個別業績予想における売上高は8.8%増の8,380百万円となる見込みであります。

また、売上高の増加に加え、当社グループにおいては、厳しい経営環境の中でも利益を生み出せる体制づくりのため、設備投資の圧縮、生産工場の集約、労務費・諸経費の削減に継続して取り組んだ結果、連結業績予想における営業利益は、104.0%増の1,530百万円、経常利益は、72.2%増の1,860百万円、個別業績予想における営業利益は、77.6%増の1,900百万円、経常利益は、66.4%増の2,080百万円とそれぞれ増加する見込みであります。

一方、当期純利益は、売上高の増加があったものの、第3四半期連結会計期間にて、当社において、生産工場の集約に伴う減損損失363百万円があったことにより、個別業績予想においては7.9%増の960百万円にとどまる見込みであります。また、連結業績予想においては、個別業績による影響に加え、第3四半期連結累計期間までに連結子会社における早期退職者の募集をはじめとした事業構造改善費用31百万円、訴訟関連損失67百万円を計上したこと等により、2.4%増の850百万円にとどまる見込みであります。

※上記に記載した業績予想の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以 上